

# 重誓寺報

第25号 平成25年6、7月発行

浄土真宗 本願寺派 (西本願寺) 重誓寺  
じゅうせいじ

大阪市旭区中宮2丁目4番19号  
電話・FAX 06 (6951) 0090

近年、はじめてお寺を訪ねて来られ、「葬式は済ませたのですが、後のお参りをお願いします。」という方が増えてきました。それも新たな方に仏法が広まる機会でもあり、ありがたいことです。

若い方が、代々続いた地ではなく新たに家を構え、菩提寺との関係が無くなっていることが原因でもあります。そのような方が身内の不幸に際した時、葬儀社に全て任せることになり、当然お寺さんも紹介して頂くことになります。しかし残念ながら葬儀社と利害関係のあるお寺さんを紹介されることもあります。後に、遠方であるなどの理由でお参りに来てもらえなくなつたなどのトラブルになることがあるのです。

急なことで最初は、とりあえず葬儀さえ出せば良いと考えてしまいますが、後々落ち着いて考えるところのままでは済ませられないと感じます。葬儀は、単に亡くなった方とのお別れだけではありません。故人への感謝の気持ちを表すと共に、この世が諸行無常であり、誰にも必ず訪れる別れを自覚し、浄土に生まれ往く(往生)ことを仏さまから教えていただく大切な仏教行事であります。

お知り合いで菩提寺を持たない方にも、日頃から仏法に触れていただくようお勧めいただき、皆様が葬儀をはじめ、法事、月参りなど仏教行事が単に通過儀礼で済ませられず、本当の意味を感じながらお勤めさせていただきます。ただけるようになればと願っております。



## 法座のご案内

重誓寺では毎月、二十日

(三、五、九、十一月は二十日、二十一日)

法座が勤まります。

勤行約三十分、法話約一時間

浄土真宗にとって一番大切なことが、  
仏法を聞くこと、いわゆる聴聞であります。  
皆様お誘い合わせの上、お参り下さい。

### 常例法座

六月二十日(木)

講師 平戸 昭乗 師

七月二十日(土)

講師 寺本 正尚 師

八月二十日(火)

講師 石川 欣也 師

いずれも

午後二時、七時三十分



## 浄土真宗の基礎知識

お仏壇にお飾りする仏花は、必ず生花を入れるようにしましょう。

花は万人から愛され、生活に潤いをもたらせてくれます。花を贈ることは敬愛

や感謝の気持ちを示すことでもあります。仏花をお供えすることは仏様のお徳を讃え、そのご恩に感謝する気持ちの表れであります。

しかし単にこちらの気持ちを表すだけでは、花はこちら向きではなく、仏さまの方を向くことになります。私が供えた花は、そのまま私に注がれている仏さま慈悲の心を表しているのです。精一杯輝かしく咲いている花を通して、すべてを生かし育んでいる仏さまのいのちに触れさせていただきましょう。

庭先の花でも結構ですから、四季折々の生花を心を込めてお供えして下さい。



## 親鸞聖人の一生

⑥ 洛京・箱根靈告

親鸞聖人が関東に住まわれて二十年あまり、六十歳を過ぎた頃、京都に戻ることを思い立たれます。理由については諸説ありますが、執筆中の「教行信証」を仕上げるため、京都でしか手に入らない書物も多く、それを書き上げようという気持ちからと言われています。また関東の門弟から『師』と慕われることを嫌い、また京都の念仏者たちを気にかけていたこともあるようです。

その京都への帰り道のことでした。一行が箱根の山路を越え、人里に降りて来た頃には夜明け近くになっていました。そこで一行は一軒の家に立ち寄りうと声をかけました。そこに出てこられた老人は「居眠りをしてい



ましたら、その時夢の中で権化さまが現れ、『今から私の尊敬する客人が来られる。丁重にもてなすように』と言われた。そこにあなたがお越しになりました。」と言い、ご馳走でもてなしたということでした。

お念仏をよるこぶ人は、神様もまた讃えておられるのであり、様々な神仏もまた仏の仮の姿であることを説かれています。

親鸞聖人は箱根まで付き添ってきた性信房しんぼうに愛用の笈おい（仏具を運ぶ箱）と共に教化を託し、関東を後にしました。

病む子をば

あずけて帰る旅の空

心はここに残りこそすれ

（箱根 笈おいの平碑たいら）



そして親鸞聖人は、執筆活動に専念されますが、京都では鎌倉幕府により再び念仏禁止令が出され、念仏者への迫害が続きました。

## 本願寺参拝・帰敬式

5月31日、本願寺に参拝しました。6名の方が新たに「おかみそり」を受け、法名をいただきました。



日野誕生院や法界寺にも参拝しました。



5月21日第15回重誓寺落語会には、60名以上の方々に身近で落語をお楽しみいただきました。



## 重誓寺落語会

りま娘こ八  
までの名です。と頭  
ました。の前は、は兄弟  
。新イソラと妹の  
子ソラといっの末  
育とい、やっ子  
てが、やんとい  
が、来ちいう  
始春ちやう



2代目パピー、イソラです！

た。新のそ  
。たパして  
。なピー、六  
。子ウ、月  
犬オー、始  
が、カ、め  
や、ー、よ  
つ、と、り  
て、き、二  
ま、し、回  
し、目

パドマは三月末で盲導犬となるため訓練所へと戻って行きました。団体生活に戸惑いながらも元気で訓練に励んでいるという事です。

重誓寺 HP <http://juseiji.net> E-mail [info@juseiji.net](mailto:info@juseiji.net)

寺報はバックナンバーを含め、ホームページでご覧いただけます。

ご意見、ご質問等がありましたら、メールでもお寄せ下さい。